

所管課	生涯学習部ふるさと文化課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策								
	第3章 元気創造都市			07 市民文化			03 歴史文化遺産を保存・活用する								
事業：文化財保存事業										整理番号	0575				
目的	本市に所在する全国有数の歴史文化遺産を適切に保存することにより、次世代に継承することを目的とする。														
目標	指定文化財の保存 未指定文化財の継承支援														
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		51,696		コスト情報・評価	総コスト(千円)		58,044		総合評価	B	妥当性	A		
	財源内訳	一般財源		51,683		内訳	事業費		51,696			効率性	A		
		国府支出金		0			人件費		6,348			有効性	B		
		地方債		0			公債費		0		当初の計画どおり、適切に事業を執行できた。				
		その他特定財源		13			一人あたり(円)		514						
							世帯あたり(円)		1,231						
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	市の歴史・文化的資源としての文化財の適切な保存が進んだことで市の魅力が向上した。									
今後の方向性	今後、歴史文化基本構想を策定する中で、長期的な視点を持ち、保存事業を進めていく。														

事業優先順位	1 細事業：指定文化財保存事業										整理番号	03	
目的	文化財を適切に保存し、次世代に文化遺産を継承する。												
目標	本市に所在する文化財の保存を推進し、次世代に文化遺産を継承するため、 1. 市収蔵文化財の修理を実施する。 2. 史跡観心寺境内整備基本計画及び榎本院地区整備実施計画の策定を完了する。 3. 37件の指定文化財管理・修理事業に対し、補助金を交付し、適切に保存の措置を行う。												
事業実施主体	直営	事業開始年度	昭和47年度以前	根拠法令	文化財保護法、河内長野市文化財保護条例、文化財保存事業補助金交付要綱								
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較				
	財源内訳	一般財源		51,465			内訳	事業費					51,465
		国府支出金		0				人件費					5,555
		地方債		0				公債費					0
		その他特定財源		0				一人あたり(円)					505
				0				世帯あたり(円)					1,209
		0		参考	職員数(人)		0.70						
		0		再任用職員数(人)		0.00							
今後の方向性	今後、歴史文化基本構想を策定する中で、長期的な保存事業についての方針を定めていく。												
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	文化財所有者 文化財活用の対象となる市民・市への来訪者								
	A	A	B										

事業：文化財保存事業

本市に所在する文化財の保存を推進し、次世代に文化遺産を継承するため、河内長野市立ふるさと歴史学習館収蔵資料「引札」3点の修復を実施した。指定文化財の所有者・関係者・学識経験者・大阪府教育委員会・文化庁と協議のうえ、史跡観心寺境内整備基本計画及び槇本院地区整備実施計画を策定した。また、37件の指定文化財管理・修理事業に対し補助金を交付した。文化財資料をデータ保存するため、ふるさと歴史学習館収蔵の紺屋型紙400枚を撮影し、デジタル画像を得た。

細事業：指定文化財保存事業

1. 指定文化財保存事業

指定文化財の管理・修復や無形文化財の継承・保存等に対して指導助言し、河内長野市文化財保護条例・同条例施行規則、文化財保存事業補助金交付要綱に基づく補助金を交付することにより、指定文化財の適切な保存・管理を促進した。

・国指定文化財保存事業	金剛寺金堂外2棟修理など	全20件
・府指定文化財保存事業	金剛寺築地塀修理など	全7件
・市指定文化財等保存事業	西代神楽保存継承など	全10件

2. 市所蔵文化財修復事業

ふるさと歴史学習館が収蔵する貴重な資料のうち、劣化・損傷が著しい資料の修復を行った。

- ・引札（明治時代のチラシ広告） 3点

